

**平成30年度 第2回香美市子ども・子育て会議
会議録要旨**

【日 時】平成30年11月19日（月）18：30～19：00

【場 所】香美市役所3階会議室

【出席委員】15名

武内委員、五藤委員、福留委員、森田委員、春田委員、近藤委員、松浦委員、
竹平委員、日向委員、川俣委員、福石委員、川越委員、前田委員、嶋村委員、
田中委員

【事務局等】10名

時久教育長、横山課長、原班長、宇根係長、三木主幹、坂本主事（教育振興課）
宗石主任保健師、今久保保健師（健康介護支援課）、
松永主幹（子育て支援センター）
高岡 暖（株ジャパンインターナショナル総合研究所）

【傍聴者】なし

【要 旨】

1. 開会

開会、時久教育長より挨拶。

2. 会議成立報告、資料確認

事務局より会議成立報告、資料確認

3. 議事

(1) 子ども・子育て支援事業計画の平成29年度実績について

- ・教育振興基本計画との重複事業について
- ・平成29年度進捗評価の訂正について

事務局より説明。

質疑なし。

(2) ファミリー・サポート・センター事業の報告について

事務局より説明。

〈意見・質疑等〉

(委員) 保育園や託児所に入れず、困って会員に申し込んでいる方がいる。数ヶ月続けて利用するなどの利用をしてはいけないのか。

(事務局) 今のところ臨時的な利用を考えている。数ヶ月続けて毎日という利用の仕方は想定していない。

(委員) だめではないと思う。ただ、金額が高くなるというところがある。預かる側が大丈夫であれば、制度上は問題ないが、そこまで対応できる人が現状ではない状態。

(委員) 現在、利用登録している子どもさんが18名の状況ということだが、この事業を活用してみたい方は増える見込か？見通しは。

(事務局) 現在、この事業は近藤委員在籍の NPO 法人いなかみに委託をして実施している。

(近藤委員) 今後の見通しとしては、援助会員の募集が課題となっている。これは同様の事業を行っている他市町村でも同じ状況。香美市では事業を始めたばかりで、援助会員になってくれる方が少ない。講習も 2 日間あり、仕事を持っている方は難しい状況がある。反対に、援助を受けたい依頼会員のほうは呼びかければ呼びかけるだけ集まる。ただ、依頼会員が増えても、日程が合わない等マッチングができないことがあり、援助会員を増やしていく必要がある。援助可能な方は紹介いただきたい。援助会員を増やしていくことで、地域で子育てを支えていくということが可能になる。

(委員) 現状、需要と供給があっていないということになるか。

(近藤委員) そうなっている。

(委員) 登録会員ごとの地域性があるか。地域や年齢は。

(近藤委員) 援助会員は土佐山田地区が一番多く、次に香北地区、物部地区では 1 名となっている。依頼は土佐山田中心に多い。6 月の講習会は想定より多くの受講があり、香北地区の方も多くいた。援助会員の年齢も幅広く、退職後の方から子育て世代だが、少しの時間なら預かれるという方までいる。マッチングの際には、双方の状況に応じてマッチングをしている。

(3) むし歯予防事業の一部変更について

事務局より説明。

〈意見・質疑等〉

(会長) 3 歳児のむし歯が少なくなっているということは、保育指導の中で歯磨きをされているということではない？

(事務局) 合併前は香美市の保育所の中で歯磨き教室などは無かったが、合併後は市内すべての保育園で歯磨き教室が年に 1 回以上行われており、保育園でも力を入れている。また、フッ素を使わないと一定以上の虫歯予防は難しいため、1 歳半や 3 歳検診の際に、フッ素塗布を行っている。また、子育てセンターなどでも、歯磨き講習を行うなどしており、保護者の意識が高まっている状況がある。

(会長) 3 歳児のむし歯が少なくなっているということは、1・2 歳が大事ということか。

(事務局) はい。離乳食のころから、歯にいい食べ物など食生活と関連するが、子育てセンターで離乳食教室を行うなど、取り組みを行ってきている。

(会長) 1 歳半健診でフッ素を塗布するのか。

(事務局) 希望者のみ行っている。

(委員) 健診で塗布するフッ素と歯科医院で塗布するフッ素は同じか？

(事務局) 健診は医療行為ではないため、塗布するフッ素の濃度は歯科医院のものより濃度が薄いものを塗布している。

(委員) 薄くても効果があるということか。

(事務局) 健診でのフッ素塗布は、むし歯予防よりお母さんの啓発を目的としている。

健診で一度塗って、すぐ予防効果があるということではない。

- (4) その他
特になし

4. 次回開催日について
平成31年2月12日(火) 18:30～

5. 閉会